

広報

にしあいづ

12

2021

No.758

教師の会 平成24年3月例会記念



もくじ - Contents -

P2 特集 **第36回西会津ふるさとまつり**

P6 まちの話題

西会津小学校マラソン記録会、小中高赤い羽根共同募金引渡し、
第40回町長杯争奪親善ゲートボール大会 ほか

各種競技・コンテスト 表彰受賞者

〔敬称略〕

【第22回桐ゲタ投げ全国大会】

小学生男子の部

- ①長谷川太我（3 年 86 ㌔・西会津小 4 年）
- ②齋藤大我（3 年 17 ㌔・西会津小 3 年）

小学生女子の部

- ①藤原杏奈（3 年 80 ㌔・西会津小 5 年）
- ②外島美怜（2 年 70 ㌔・西会津小 4 年）

少年男子の部

- ①上野翔太朗（3 年 32 ㌔・西会津中 1 年）
- ②佐藤楓馬（3 年 31 ㌔・西会津中 1 年）

一般女子の部

- ①今井凜（4 年 10 ㌔・西会津高 2 年）
- ②大山栞那（2 年 94 ㌔・4 町内）

一般男子の部

- ①佐藤健吾（9 年 32 ㌔・上野尻）
- ②佐藤雄太（5 年 63 ㌔・上野尻）

【高齢者・障がい者作品展】

ものづくりの部・大賞

伊藤由美子（つるし飾り・出ヶ原）

同・県老人クラブ連合会長賞

齋藤勉（はけご・尾登）

芸術文化の部・大賞

伊藤てる子（花器・6 町内）

同・日本赤十字社福島県支部長賞

新田禮子「小菊」（水墨画・萱本）

介護サービス利用者の部・大賞

介護付き有料老人ホームしなのきホーム
西会津「わが町と県の名産品」（貼り絵）

【子育てつばき川柳】

大賞 中野富全「成長が 父親そっくり
心配だ」



丞神デナー SHOW!!



八代亜紀オンラインコンサート



ミニSL



桐ゲタ投げ全国大会

町民限定

第36回 西会津の文化と産業祭 西会津ふるさとまつり

10月30日・31日、今年で36回目を迎えた西会津ふるさとまつりが、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、西会津町民限定で開催されました。

会場となったさゆり公園には、そばや味噌ラーメン、スイーツなどの西会津のグルメ、ミネラル野菜をはじめとする農林産物と特産品、健康づくりやデジタル体験コーナーといった町の魅力が勢ぞろいしました。

開催期間中は、恒例となった「桐ゲタ投げ全国大会」や「民俗芸能と民謡の集い」、ご当地ヒーローの「丞神デナーショー」などのイベントがメインステージで行われました。ほかにも今回は、吉本興業株式会社所属のお笑い芸人によるお笑いライブや、八代亜紀さんによるオンラインコンサートが行われ、会場は大いに盛り上がりしました。

イベントの最後には、西会津産米や特産品などが当たる「西会津ふるさと大抽選会」が開催され、豪華景品を狙う

参加者の皆さんで今回のふるさとまつり一番の盛り上がりを見せました。

2年ぶりの開催となった今回の西会津ふるさとまつり。晴天にも恵まれ、町民限定の開催にも関わらず、連日1000人を上回る来場があり、大人から子どもまで、西会津の魅力を見て、体験して、食べて、町の魅力がいっぱい詰まったイベントとなりました。

メインステージ



ペンギンナッツの2人



大西ライオンさん



福島レッドホープスファン感謝祭



さゆりストリートジャズオーケストラ



民俗芸能と民謡の集い



小田島あつみさん

八代亜紀オンラインコンサート

このオンラインコンサートは、会場だけでなく介護老人保健施設憩の森ともリモートで繋がれました。八代亜紀さんの素敵な歌声に多くの皆さんが酔いしれていました。



憩の森利用者の皆さん

西会津ふるさと大抽選会

ふるさとまつりを締めくくる大抽選会。西会津産米1俵や特産品詰め合わせなど豪華景品が盛りだくさん。



桐ゲタ投げ全国大会

投げる桐ゲタは小学生用が7キ、一般が13キの特注品。各部門で熱い戦いが繰り広げられました！



オープニングセレモニー



大山さゆり太鼓の皆さんによる勇壮な演奏と関係者によるくす玉割りでふるさとまつりが開幕！



商工まつり部門

町内菓子店のスイーツや、町商工会青年部による特製味噌ラーメンが大人気！体育館周辺には、キッチンカーが大集合しました。



農業まつり部門

農林産物の販売や、ファミリー木工教室を開催。1日500食限定の新そばまつりでは、連日長蛇の列ができていました。



健康福祉まつり部門

高齢者・障がい者作品展をはじめ、ユーモアたっぷりの子育てつづやき川柳や、自分の健康について考えてもらう健康づくりコーナーなどが設けられました。



なつかしカーショー 2021

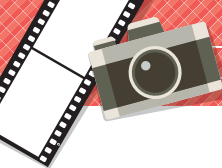


文化祭部門

町内の児童生徒や町民の皆さんの自慢の作品がズラリ！



西会津の魅力
満喫した2日間



白熱した試合が続々！

町長杯争奪親善ゲートボール大会

10月15日、さゆり公園ふれあい広場で町長杯争奪親善ゲートボール大会が開催されました。40回目の開催となった今大会は、町内の老人クラブなどから22チームが参加し、町長杯をかけて白熱した試合が繰り広げられました。試合は予選ブロックと決勝トーナメントによって行われ、芝草チームが優勝の栄冠を手に入れました。【大会結果】優勝＝芝草、準優勝＝下野尻A、第3位＝萱本B、下野尻B



生徒たちの思いが詰まった文化祭 西会津中学校 光桐祭

第20回目となる西会津中学校の文化祭「光桐祭」が10月16日に開催されました。今年は「青春を駆け抜けろ ～扉の先にある新たな自分へ～」をテーマに、毎年恒例の合唱コンクールをはじめ、職場体験やアントレプレナーシップ学習などの発表、各学年ごとに企画した演劇などが行われました。会場は盛り上がりを見せ、生徒たちの熱い思いが詰まった素敵な光桐祭になりました。



楽しい思い出いっぱいの3日間 西会津高校 西高祭

10月15日から17日にかけて、西会津高校で西高祭が開催されました。初日は野沢民芸品製作企業組合の皆さんを講師に迎え、赤べこの絵付けを体験し、赤べこに込められた願いや模様の意味を学びました。2日目は、伝統芸能である落語や紙切りを鑑賞し、最終日はクラス企画やステージ発表が行われました。大山さゆり太鼓と西高生との共演もあり、多くの来場者の皆さんを楽しませていました。



自己ベストを目指して走り抜く

西会津小学校 マラソン記録会

西会津小学校のマラソン記録会が10月22日に行われました。この日のために朝や昼休みの時間に練習を積んできた児童たちは、自己ベストの更新を目指し、ゴールまで全力で走りました。コース沿いには保護者や地域の皆さんだけでなく、こゆりこども園の園児たちも駆け付け、一生懸命に走る児童たちに熱い声援を送っていました。



「行動と あなたの気持ちで 変わる未来」 赤い羽根共同募金を引渡し

町内の各学校で集められた赤い羽根共同募金が町へ引き渡されました。11月12日には西会津高校と西会津中学校、11月15日に西会津小学校から代表の児童生徒がそれぞれ町長室を訪れ、町共同募金委員長である薄町長へ募金箱を手渡しました。

児童生徒は登校時に昇降口に立ったり、校舎内を回ったりなどして募金活動を行いました。薄町長は「皆さんが頑張って集めた募金は、福祉活動事業で有効に使わせていただきます」と感謝の言葉を述べました。



▲ 西会津高校の皆さん



▲ 西会津小学校の皆さん



▲ 西会津中学校の皆さん

西中図書館 新刊オススメ本



『月と日の后』
[沖方丁 著]
宝島社

「源氏物語」の作者 紫式部が女房として仕えた皇后彰子は、朝廷一の権力者 藤原道長の娘で、自分の産んだ皇子が天皇となり国母となったにもかかわらず、父

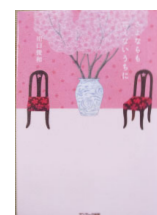
親の影に隠れて印象が薄く感じられます。本書は、そんな皇后 彰子が主人公の物語です。

わずか 12 歳で父に言われるがままに入内し、一族の権力争いに利用されるだけだった孤独で内気な少女は、いかにして陰謀渦巻く宮中で愛する者を守るため、自らの人生を取り戻すために戦い、その存在を知らしめる力を蓄えていったのか…。平安王朝を新たな視点からドラマチックに描いた長編小説です。



『ぼくはイエローでホワイトで、
ちょっとブルー2』
[ブレディみかこ 著]
新潮社

『オートミール健康レシピ』
[植草 真奈美 監修]
扶桑社



『さよならも言えないうちに』
[川口 俊和 著]
サンマーク出版

『民王 シベリアの陰謀』
[池井戸 潤 著]
KADOKAWA



町民ギャラリー 出ヶ原和紙作り講座

町公民館では、地域文化を再生し、和紙の新たな可能性の発見を目的とした「出ヶ原和紙作り講座」を昨年度から開催しています。前月号に続き、本講座に参加した皆さんが自分で漉いた出ヶ原和紙を使って作成した作品を紹介します。

今日は、佐藤悦美さん（出ヶ原）の作品です。

作品によせて…

- ①ペン立ては、通常の和紙に皮やちりの入った和紙を貼ってアクセントにしました。
- ②写真立ては、円満寺観音堂の写真を入れ、歴史と和紙の文化を融合させてみました。
- ③写真壁飾りは、和紙の周りをちぎり、出ヶ原のぎる菊の写真と合わせてみました。
- ④照明スタンドは、クラフトテープで作った骨組みに和紙を貼りました。3色に光るLEDライトが和紙の繊維を浮かび上がらせ、幻想的な雰囲気を醸し出してくれます。

①



②



③



④



強豪チーム相手に食らいつくも敗退 第8回市町村対抗福島県ソフトボール大会



今年で8回目を迎えた市町村対抗福島県ソフトボール大会は、10月16日から相馬光陽ソフトボール場（相馬市）で開催され、出場した県内50市町村のチームが熱戦を繰り広げました。他の大会と同様にこの大会においても、新型コロナウイルス感染症対策として観戦時にはソーシャルディスタンスを保ち、大声を出さないなどの制限が設けられた中で開催されました。

今回で5回目、2年ぶりの出場となった西会津町チームは、岩原宏監督の下、各々の仕事が終わってからの夜間練習を重ね、ソフトボールの感覚を取り戻しながら試合に向けての調整を行ってきました。

西会津町チームの初戦は、当初10月17日の第2試合に二本松市チームとの対戦する予定でしたが、降雨で順延となり、10月23日にあらためて対戦することになりました。

試合は、西会津町チームの先攻で始まりましたが、相手チームの二本松市チームは過去に2回優勝するほどの強豪チームということもあり、1回表の攻撃では得点にはつながりませんでした。その裏の相手チームの攻撃では、久々の実戦ということで選手たちにも固さが見られ一挙に10点を先制されてしまい、2回以降も攻撃の手を緩めない二本松市チームに失点を重ねてしまいました。西会津町チームも反撃に出ようとバットを握る手に力を込めましたが、なかなか得点にはつながらず、0対15（3回コールド）で敗れました。

本大会は2年ぶりの出場ということでブランクもあり初戦敗退に終わりましたが、来年に向けメンバー選出や練習方法などを工夫しながらチームを強化していき、次こそ初戦突破のできるように取り組んでいきます。



温かいご支援ありがとうございます 西田晴雄さん 町へ寄付

10月28日、西田晴雄さん（高目）が町役場を訪れ、町へ寄付金を贈りました。西田さんは「長年、町にはお世話になっている。社会福祉に役立ててほしい」と話し、薄町長へ寄付金を手渡しました。

頂いた寄付金は、町の社会福祉事業の発展に活用していく予定です。



子どもたちの英語力向上に努める 外国語指導助手にグレゴリーさんが着任

外国語指導助手着任式が10月21日に町役場で行われ、グレゴリー・ブライアントさんが新たに着任しました。アメリカのウィスコンシン州出身のグレゴリーさんは、大学での日本語の研究や日本語の家庭教師をしていた経験を活かし、西会津小学校や西会津中学校での英語教育に携わる予定です。着任にあたり、グレゴリーさんは「英語でコミュニケーションが取れることは世界で大切なこと。日本とアメリカをつなぐため、町のために何かお手伝いができればと思っています」とあいさつしました。



手塩にかけた自慢の米を出品 西会津一うまい米コンテスト

町では、西会津産米のおいしさを客観的に評価し、町内外への情報発信による知名度の向上と販売強化につなげるため、「西会津一うまい米コンテスト」を開催しています。

8回目となった今回は「コシヒカリ部門」に106点、「こだわりの品種部門（コシヒカリ以外の町産米）」に11点の計117点の出品があり、食味分析計や実食の審査により受賞者を決定しました。

11月2日には、本コンテストの表彰式が町役場で行われ、最優秀賞に輝いた須藤吉夫さん（写真左から2番目）らに表彰状が贈られました。式の中で大竹享副町長は「受賞おめでとうございます。受賞を糧としてさらにうまい米づくりに向けて頑張ってください」とあいさつしました。



【コシヒカリ部門】（敬称略）

最優秀賞：須藤吉夫（萱本）

優秀賞：斎藤宗一（萱本）、長谷沼勉（高目）、猪俣彦市（小山）、三瓶鉄江（出戸）

【こだわりの品種部門】

奨励賞：橋谷田ファーム（株）（品種：ゆうだい21）

デジタル化について意見を交換 自治体首長メタバース会議

デジタル庁が創設した10月10日、11日の「デジタルの日」に合わせ、同11日、町は北海道森町、滋賀県日野町、鹿児島県肝付町の3町とVR（仮想現実）技術を活用した会議「メタバース会議」を行いました（下写真はVR空間の様子）。

主催は、本町とデジタル戦略にかかる連携協定を結んでいる一般社団法人コード・フォー・ジャパンで、参加した4町の町長の皆さんは自身のアバター（分身）を操作してVR空間で会議に臨みました。会議では、デジタル化の推進やVR技術の活用方法などについて意見が交わされ、最新技術を通して各町が交流を深めました。



秋晴れの中、緑化推進の願いを込めて 第11回会津耶麻地方植樹祭

10月19日、第11回会津耶麻地方植樹祭が北塩原村保健センターで開催されました。

町からは薄町長、伊藤一男町議会副議長、江添信城教育長、西会津小学校の博多弘泰校長とみどりの少年団の代表児童が参加しました。この日は、耶麻管内の小学生や林業関係者が参加し、オオヤマザクラの苗木を植樹することで、森林整備の大切さを実感していました。



日々の訓練の成果を披露 町消防団 秋季消防検閲

10月17日、町消防団による秋季消防検閲が各分団ごとに行われました。

第5分団では、分列行進のほか、薄町長による通常点検などが行われ、団員の士気の向上が図られました。また、検閲式終了後には、奥川・中町自治区での火災を想定した模擬火災訓練も行われました。[写真は放水訓練の様子]





就学前の子どもを持つ保護者の皆さんへ

令和4年度こゆりこども園の入園申し込みを受け付けます

こゆりこども園では、来年4月からの入園申し込みを受け付けています。入園を希望する場合は、子育て支援センター（こゆりこども園内）または役場福祉介護課にある支給認定申請書（入園申込書）に必要事項を記入し、次の関係書類を添えて期限までに提出してください。

なお、現在「こゆりこども園」を利用している園児については、園を通してご案内します。

◆関係書類

◎保護者の就労等証明書

◎個人番号（マイナンバー）確認用紙

※個人番号確認用紙は、保護者が令和3年1月1日現在で西会津町に住所がない場合必要となります。

※申請書および関係書類については町ホームページからもダウンロードできます。

◆入園できる児童

生後6か月～就学前の児童

（基準日：令和4年4月1日）

◆申込期限

12月22日（水）まで

〈提出・問い合わせ先〉

子育て支援センター ☎45-4332



建設水道課からのお願い

冬期間の水道使用料と使用上の注意点について

◆冬期間の水道料金について

冬期間は積雪等により検針が困難になるため、12月分～3月分の水道料金は、9月～11月の平均使用水量をもとに算定した概算額を請求します。その後、4月に検針を再開してから過不足分を精算しますので、ご了承ください。

◆冬期間の水道使用の注意点

凍結防止のため、次のことを確認してください。

①電熱ヒーターの電源を入れる（電熱ヒーターの点検もしてください）

②不凍水抜栓の作動確認を行う（雪による破損防止のため、雪囲いもしてください）

※古いものは新しくしてください

③メーターボックスを保温する（メーターボックスに布や発泡スチロールを入れる）

◆漏水の点検について

水道管の老朽化や凍結などにより、気付かないうちに宅内で漏水している場合があります。昨年も凍結による事故が多く見られました。その場合、水道料金が高額になってしまいますので、時々、メーターや家の周りを確認してください。

※漏水を発見した場合は、町指定の給水装置工事事業者か建設水道課に連絡をお願いします。

◆冬期間に家を留守にする場合は…

降雪前に水道メーター休止の手続きを行ってください。降雪後に手続きを行う場合はメーターボックス周辺の除雪をお願いします。

凍結により水道管が破裂したり、凍結防止のために水道を出したままの状態にすると、水道料金に反映され、検針再開時に高額な水道料金が請求される場合がありますので、不凍水抜栓や電熱ヒーターの設置をお勧めします。不凍水抜栓等の設置については、建設水道課または町指定の給水装置工事業者に問い合わせください。

〈連絡・問い合わせ先〉

建設水道課 上下水道係 ☎45-4534



デジタル技術でデマンドバスがさらに便利に！

A I オンデマンドバスの実証運行がスタート

町では、今年3月に策定した西会津町デジタル戦略を基に、デマンドバスのさらなる利便性の向上や運行の効率化などを図るためA I（人工知能）を活用した「A I オンデマンドバス」（リクエスト型最適経路バス）の実証運行が11月8日にスタートしました。

A I オンデマンドバスでは、利用希望者から電話や専用アプリを通して乗車予約を受けると、それに合わせてA I が運行経路や時間を計算して効率的な配車・運行を行います。また、既存のバス停以外にバーチャルバス停（標柱のないバス停）を新たに設置し、自宅や目的地からバス停までの距離が近くなる効果も期待されています。



▲11月7日には関係者によるA I オンデマンドバス試乗会が行われました

◆従来のデマンドバスとの違い

	従来のデマンドバス	A I オンデマンドバス
予約	電話	電話 + アプリ
乗降場所	既存のバス停	既存のバス停 + バーチャルバス停
乗降時間	大まかな時間を予約時に伝える	実績や予約状況をふまえ A I が目安時間を計算
経路	運転手が決定	A I が最適経路を生成

アプリは時間を気にせず予約ができる

自宅や目的地により近い場所で乗降できる

待ち時間の削減

運行効率の向上

◆注意事項

・運行エリア、運行時間、運賃、支払方法は従来どおりです。

・電話予約もでき、今までと同じ方法でバスの利用が可能です。

〈問い合わせ先〉

町民税務課 町民生活係 ☎45-2215

専用アプリのダウンロードはこちら



Google Play
でダウンロード



App Store
からダウンロード

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

◆大きさ 1 枠当たり縦4.0cm×横8.5cm

◆掲載料 1 枠当たり5,000円/月

〈問い合わせ先〉

企画情報課 広報広聴係 ☎45-4536



ファミたんカードの更新について

県では、子育て中の人が協賛店で「子育て応援パスポート（ファミたんカード）」を提示すると、さまざまなサービスを受けることができる事業を実施しています。

現在配布しているカードの有効期限が令和4年3月末までであることから、令和4年1月中旬より新しいカードを、こども園や学校などを通して配布します。

子どもがこども園などに所属していない場合や3月末までに受け取れなかった場合、カードを紛失してしまった場合は、下記まで申し込みください。

◆対象者

0歳から18歳未満（18歳に達して最初の3月31日を迎えるまで）の子ども

◆配布枚数

対象者1人につき1枚

◆注意事項

・ファミたんカードを使用す



建設水道課からのお願い

除雪作業にご理解とご協力をお願いします

町では、町民の皆さんの冬の暮らしを守るため、生活道路の交通の確保に取り組んでいきます。

本町のような豪雪地域で冬を快適に過ごすためには、皆さんのご理解とご協力が不可欠です。次のことを再確認していただき、共に快適な冬の生活を築いていきましょう。

◆路上駐車は絶対にしないでください

1台でも路上駐車があると、そこから先の除雪作業が行えない場合がありますので、夜間の路上駐車は絶対しないようお願いします。

◆早朝除雪時の騒音はご容赦ください

通勤や通学に支障が出ないように、早朝に作業を実施しています。また、降雪状況によっては深夜に出動する場合があります。除雪作業時の騒音はご容赦ください。

◆屋根からの雪は各家庭で片付けてください

屋根からの落雪や雪下ろしで道路に雪が落ちる場合は、通行の支障とならないよう各家庭での処理にご協力をお願いします。

◆障害物には赤い目印を付けてください

除雪作業により破損する恐れのある構造物は、赤い布切れなどで目立つよう表示してください。

◆スノーボールの保全にご協力ください

除雪作業を安全に行うため、道路の路肩に紅白のスノーボールを立てています。除雪作業の「道しるべ」ですので、倒れているボールを発見した場合は、立て直しにご協力をお願いします。

◆除雪車両には絶対に近づかないでください

除雪車両に近づくと大変危険ですので、絶対に近づかないでください。

◆田畑に砂利などが入ることがあります

細心の注意を払い作業にあたっていますが、雪に付着した砂利などが田畑に入ることがあります。ご了承ください。また、自治区等での砂利拾いにご協力をお願いします。

〈問い合わせ先〉

建設水道課 管理係 ☎45—4530

有料広告を募集しています

広報にしあいづに掲載する有料広告を募集しています。詳細は左記まで問い合わせください。

◆規格および掲載料

○縦4センチ×横8.5センチ／1枠

○1枠あたり5,000円／月

〈問い合わせ先〉

企画情報課
広報広聴係

☎45—4536



漢字検定にチャレンジ

西会津中学校で漢字検定を実施します。小中学生だけでなく、町民は誰でも受検できます。詳細は左記まで問い合わせください。

◆日時

令和4年1月29日（土）
午前8時45分から10時

◆会場

西会津中学校

◆申込期限

12月17日（金）

〈申し込み・問い合わせ先〉

学校教育課 学校支援係
☎45—2216



英語検定補助のお知らせ

町では、中学生と小学5・6年生の英語力向上と主体的な学びを応援するため、英語検定の検定料を補助しています。受験日や試験会場は問いません。詳細は町ホームページ

お知らせ INFORMATION

ケーブルテレビ さゆりチャンネル 12月の放送案内

◆町議会定例会

生放送 午前10時～
再放送 午後6時～
※放送時間に変更になる場合があります。

◆年末年始特別番組

詳細は、にしあいづニュースワイドなどでお知らせします。

〈問い合わせ先〉

（二社）西会津ケーブルネット
☎45—4461



高額療養費 支給申請について

高額療養費は、1カ月の医療費の自己負担額が一定の金額（自己負担限度額）を超えた部分を「高額療養費」として支給する制度です。この給付を受けるためには申請が必要です。

◆申請に必要な書類等

○国保加入者の場合

保険証、領収書（原本）、世帯主の通帳、印鑑（認印）※原則として世帯主の口座に振り込みとなります。

○後期高齢者医療加入者の場合

保険証、通帳
※後期高齢者医療加入者は、申請により一度口座を登録すると、次回から限度額を超えた額が自動的に振り込まれます。

〈申請・問い合わせ先〉

健康増進課 国保係
☎45—4532



有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

◆大きさ 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
◆掲載料 1枠当たり5,000円／月

〈問い合わせ先〉

企画情報課 広報広聴係 ☎45—4536

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。



皆さんこんにちは！

地域おこし協力隊の池田です。

今月は、先日開催された出ヶ原和紙に関する座談会について紹介します。

(右は私がパキスタンで活動していた頃の写真です)



地域おこし協力隊 集落支援担当
いけだ じゅん 池田 潤 隊員

出ヶ原和紙作り座談会

「出ヶ原和紙」という言葉は、西会津町の皆さんなら耳にしたことがあるかと思いますが、かつて出ヶ原集落をはじめ、町内各地でこの和紙は作られていましたが、出ヶ原集落では昭和31年の水害で和紙生産は途絶え、現在は地域おこし協力隊と集落の皆さんによって復興が図られています。

また復興の一環として、実際に和紙作りを行う講座が、町公民館主催で昨年度から開講しています。

10月8日、出ヶ原集落にて「出ヶ原和紙を実際に漉いていた人や、子どもの頃に和紙作りの様子を見ていた人からお話を聞く座談会」が、集落の皆さんによって開催されました。当時の様子を知る出ヶ原集落在住の4人を招き、かつての紙漉きのことや、当時の小学校の様子、和紙の原料である楮の枝を使った遊び、また和紙の歴史についていろいろ話を聞きました。

和紙作りの苦労話では、冬

の作業で手が冷たく、また夜遅くまで作業をしていたことなどの話を聞くことができました。また当時の子どもの遊びでは、皮を剥いだ楮の棒を下駄に付け、雪の上でスケートのようにして遊んでいたそうです。参加者からは、和紙の当時の出荷方法などに関して質問が飛んでいました。



座談会の様子

65年ぶりの紙漉き

同日午後には、出ヶ原和紙作り講座の受講者だけではなく、午前の座談会にゲストで来た皆さんも交えての和紙作りが行われ、当時出ヶ原で実際に紙漉きをしていた伊藤トミヨさんも参加しました。伊藤さんは楮の皮を剥ぐ作業を行ったり、剥いだ皮のごみを取り除く作業の当時との違いを、出ヶ原和紙担当の地域おこし協力隊である滝澤徹也隊員（11月10日で協力隊を卒業）や大山栗那隊員、他の受講者の皆さんに教えたりしていました。

さらにこの日は、滝澤隊員や大山隊員、受講者の皆さんからのたつての願いで、伊藤さんが65年ぶりに紙漉きをしてくれることになりました。この時、私は伊藤さんの一番近くで、その紙漉きの様子をビデオ撮影していましたが、65年ぶりとは思えないほど鮮やかな紙漉きの手つきに驚きました。講座の中で私が紙漉きをする時、しわができた



伊藤さんによる 65年ぶりの紙漉き

り、手首の角度が定まらず、毎回迷いながらヘンテコな紙漉きになってしまいます。しかし、伊藤さんが私たちに見せてくれた紙漉きでは、65年ぶりにも関わらず一連の動作がよどみなく繰り出され、しわの無い、綺麗な和紙が漉き上がっていました。伊藤さんは帰り際に滝澤隊員の手を取りながら、「頑張ってくださいね。ありがたい。出ヶ原和紙の復活は本当に嬉しい。体に気を付けながら頑張ってくださいね」と涙声で語り掛けており、とても感動的な場面に立ち会うことができました。

健康オモシロ座談会の活動とは

町では、令和2年度に「西会津町健康増進計画（第2期）」を策定し、「からだ」・「こころ」・「つながり」の3つの健康づくりである「さすけねえわ（輪）」を広める活動に取り組んでいます。本年度からは、本計画策定委員会（健康オモシロ座談会）の14人の委員と保健師・管理栄養士の専門職が本計画を実践に移していくため、3つのグループに分かれて活動しています。

のこしたい輪♡つなげ隊

このグループには、町内の残したい伝統や文化を見つけ、伝え、広げていきたいというメンバーが集まりました。からだの健康を基礎に、人と人、世代間のつながりによる健康を目指したいという思いを基に、話し合いながら活動しています。

まずは町内の伝統芸能である「屋敷人形」に焦点を当て、屋敷サロンを訪問しました。そこでは、屋敷自治区の皆さんが大事にしているもの、残していきたいもの、広めてい



屋敷人形

きたいものについて話を聞きました。今後は、しめ縄や風車などの手芸品の作り方を習い、これを他の地域に紹介するなどして、人と人をつなぐ、ここが健康になれるような活動をしていきます。

ケーブルテレビ番組制作委員会

このグループでは、「さすけねえ輪」を合言葉に、3つの健康を広め、町全体が健康になるようにケーブルテレビの番組を制作しています。

これまで、4人の町民をゲストに迎え、3つの健康づくりで大切にしていることを紹介しました。

今月の
さすけねえ輪実践者
武田 真奈 さん
(西会津ケーブルネット)



番組での取材を重ねるごとに感じるがあります。それは、「日々の暮らしが、健康づくりそのもの」だということです。私は、この番組に限らず普段の取材を通して、多くの町民の方とお会いしています。そんな皆さんの生き生きとした姿を見たり、話を聞いたりすると、自然と活力が湧いてくるのです。取材を通して町民の方と触れ合うことが、今の私にとっての「さすけねえ輪」。皆さん、これからもたくさん取材させてくださいね！



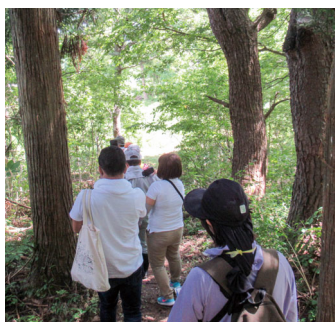
番組作成の様子

今後も、多くの皆さんの健康の秘訣を紹介していきたいと考えています。家族、お茶飲み仲間、会社の仲間などの参加も大歓迎です。ぜひ皆さんも出演してみませんか？

自然文化トレッキング探検隊

このグループでは、自然豊かな町内を探検し、地域の皆さんとの交流だけでなく、歴史などを知る機会を通して、こちらも豊かになっていくことを目指しています。子どもから高齢者まで、現地に行けない人も探検を体験できて、「からだ」「こころ」「つながり」の健康づくりになるような仕組みを検討中です。

まずは委員の地元から探検をしようということで、昨年は屋敷・弥生・弥平四郎方面を、今年は縄沢・上谷・中ノ沢・松峯方面を探検しました。今後も季節ごとに町内を探検し、その結果をさまざまな形で発信していく予定です。



探検の様子

戸籍の窓口

(10月受付分)

■ まちの人口

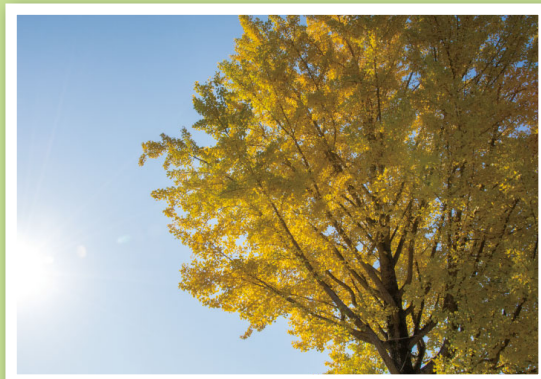
	11月1日現在	(前月比)
人口	5,859人	(-8人)
男	2,849人	(-2人)
女	3,010人	(-6人)
世帯	2,547世帯	(-3世帯)

■ お誕生おめでとう

渡邊 季くん	昌人・美子	5町内
中田 千尋くん	聡・菜津美	7町内
菊地 杜晴ちゃん	雅裕・恵	さゆりが丘

■ お悔やみ申し上げます

伊藤 利喜松 (87)	松雄	父	堀越
伊藤 貞子 (92)	進也	祖母	牧
高久 耕輔 (85)	耕二	父	萱本
長谷川 忠雄 (74)	光秋	兄	松尾
長谷沼 政雄 (87)	徹	父	小清水
津川 ムツ子 (88)	幸一	祖母	杉山



萱本のイチョウ (令和2年11月撮影)

Dream

聞いて！わたしの夢



[2年・生徒会副会長]

わたなべ じん
渡部 仁 さん

◆私の夢——

僕は将来、公務員として西会津町のために働きたいと思っています。西会津町は今、少子高齢化が進み、人口が減少しているため、自分で町に活力をつけていきたいと考え、役場職員になりたいと思うようになりました。

◆努力していること——

役場職員は町民の皆さんの話に耳を傾けられる人でないといけないと思っています。僕は普段から言葉をしっかり聞き入れてから、発言するよう心掛けています。

◆未来の自分に一言——

大変なことがあってもくじけずに頑張ってください。僕も将来に向けて一生懸命頑張っていきたいと思います。

Person

町民バトンタッチ

ほんま みゆき
本間 美道 さん [8町内]

◆趣味は？

アクセサリ作り

◆熱中していることは？

野菜などの直売所を始めたばかりなので仕事に熱中しています

◆自分を一言で表現すると？

八百屋

◆あなたのモットーは？

何事も前向きに

◆最近感動したことは？

90歳を過ぎたお客様が自転車に乗って買い物に来てくれること

◆これからやってみたいことは？

風の丘ファーム（野菜などの直売所）を憩の場にしていきたい

◆次の方を紹介してください

N・Tさん

とっておきの物は？

手作りのアクセサリ
家族や友達に作って喜んでもらえました。



みんなのひろば



長谷川 綾 さん (11月号) からメッセージ

いつも楽しませてくれてありがとうございます。



Column

協力隊リレーコラム

山の暮らしの価値

現在、JR東日本東京支社が進める「東京感動線」というプロジェクトで、東京と地方の暮らしを重ねるスローネイバッドというゆっくりと距離を越えたお付き合いを生み出す取り組みを進めています。今までは、地域でつくられたものを東京に持っていく大量に消費されることに価値があるとされてきましたが、東京という人の多く集まる街の価値と自然に囲まれた中での西会津の暮らしの価値を、持続的な循環を創り出すことで、それぞれの可能性を認め合い、相互に交流して新しい価値と経済を引き出そうとするものです。まだまだ始まったばかりですが、西会津に住む私たちが当たり前になりすぎて見過ごしている山の暮らしの価値を開かれた外の目線で再評価されることで、西会津の暮らしの価値は高まると考えています。さらに西会津に住んでいなくても、西会津の山の営みに関わる人たちが増えていくことを願って取り組んでいます。



よこやま ゆたか
横山 裕 隊員

福島市出身。大学から新潟で暮らし始める。仕事の専門は景観と地域計画づくり。観光まちづくりの視点で西会津と世界の各地と結ぶことでその地域の価値を高める取り組みを実践。

地域に伝わる伝説や民話、文化財などを紹介

にしあいづ物語100選

その56

文：岩橋 義平

極入「お聖天様」のご利益

極入にある「お聖天様」は古くから会津三大観喜天^{かんぎてん}の1つといわれ、多くの参詣者がありました。歓喜天社は、『耶麻郡誌』によると徳一大師^{とくいつ}が建てたと伝える金蔵寺に付属する建物で、寺院が荒廃した後もこの建物は残り伝えられてきたものと言われます。

歓喜天像は「河沼郡高寺より移せり」(『耶麻郡誌』より)とも伝えられます。「歓喜天」は頭が象、身体が人間からなる2体が抱き合うもので、大きな石製の容器に収められています。秘仏とされ、村の人たち誰もが目にした人はいません。

その霊験^{れいげん}は、火盗の両難を防ぎ、商売・技芸の成功、訴訟など勝負事の勝利、夫婦・良縁を結びあうなどさまざまなご利益があると言われてきました。かつての戦争中には、参詣すれば「徴兵を免れる」「戦死を免れる」などとも言われ、会津近郷はもとより新潟県などからも大勢の兵士や家族が参詣に訪れたといえます。このため「お聖天様は徴兵逃れの神だ」と曲解され、憲兵が取り締まりに来たなどの話も伝わっています。このように、その霊験は全てにわたり7代までの福を一代で取るといわれ、極めて強く、そのため「御礼参りは欠かしてはならない」とも伝えていきます。出兵した息子の無事な帰りを熱心に願った母親が、願いが叶い、喜びのあまりお礼参りを忘れたがためにその後まもなく不幸が襲ったとの話も伝えられています。

お堂の中には、手芸品や絵馬などの奉納品があり、中でも「杢人^{そまびと}(木こり)に襲われる女性を虎が救おうとしている」(別説あり)という絵馬は町指定文化財のひとつとなっています。見事な彫刻が施されたお堂自体もまた荘厳さや格調高さを感じることができます。



極入のお聖天様 (歓喜天社)



金蔵寺歓喜天社絵馬



歓喜天を収めている石製容器

今月の表紙

今月は、第36回西会津ふるさとまつりの桐ゲタ投げ全国大会より。出場者の皆さんは、桐ゲタの大きさや重さに四苦八苦しながら、好記録を目指して精いっぱい桐ゲタを投げていました。福島レッドホープスの選手の皆さんもゲストとして参加し、大会を盛り上げました。

(2ページから関連記事)

編集後記

広報紙担当になって初めて
のふるさとまつり。2日間に
わたり、会場をまわらせてい
ただきました。町民限定とは
いえ、会場を訪れる人の多さ
にびっくり！子どもからお年
寄りまで、にぎやかで楽しそ
うな声が溢れていました。

今回のふるさとまつりは、
コロナ禍であっても感染症対
策を行うことで、以前のよう
なイベントによるにぎわいが
取り戻せる可能性を感じた2
日間でした。(秦)